

DRBFM手法の

効果的な進め方と未然防止活動

と き 2026年 11 月 25 日 (水) (1日コース 10:00～17:00)

ところ オンライン(ZOOM配信)

ご参加
いただきたい方

- ☒ 開発設計部門／生産技術部門／品質保証部門／製造部門の中堅技術者およびスタッフ
- ☒ DRBFM手法を職場で取り入れ、品質未然防止活動をマスターしたい方々

本研修のねらい

市場不具合や品質トラブルは、企業の信頼や収益に大きな影響を及ぼします。その多くは「想定していたつもり」「FMEAを実施したつもり」で終わり、設計変更に伴うリスクを見逃したことが原因です。

本研修では、トヨタ自動車の未然防止活動から生まれたDRBFMの考え方と実践手法を学び、設計変更点に伴う不具合の芽を確実に発見する力を養います。FMEAを“作成するための活動”から“不具合を未然に防ぐための活動”へ進化させ、開発・生産技術・品質保証・製造部門が共通の視点で品質向上に取り組めるようになります。品質問題の再発防止、市場クレームの低減、設計品質の向上を実現したい皆様にお勧めです。

研修カリキュラム

1. 設計FMEAの課題

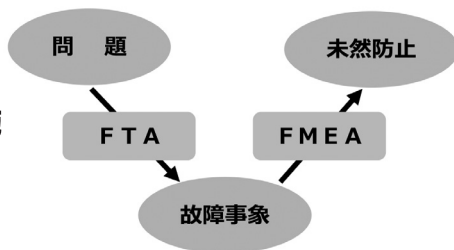
- (1) 本来のねらい
- (2) それでも不具合が起こる
なぜ不具合が開発段階で発見できず市場に流出したのか？

2. FMEAの改善

- (1) 設計問題の現状
- (2) FTAとFMEAの特徴比較
- (3) 設計FMEAの取り組み
- (4) 設計FMEAの効果

3. 設計DRBFMの実施

- (1) 目的
- (2) 適用範囲
- (3) 実施要領
 - ・検討メンバー
 - ・実施時期
 - ・使用帳票
 - ・運用手順



4. 設計DRBFMの作成手順

- (1) 作成フロー
- (2) 作成のポイント
 - 事前準備
 - Step1 機能分析
 - Step2 懸念点抽出
 - Step3 設計の考え方と処置

5. 検討会(DR)の実施

6. 結果の活用

- (1) 結果をデータベースへ
- (2) 結果を後工程へ
- (3) その他

7. まとめ

【DRBFM】とは…

トヨタ自動車では生まれた品質不具合未然防止手法。変えたところ(設計変更点)や変わってしまったところ(環境条件変更点)に着目することで、品質トラブルを未然に防ぐ。

DRBFM手法の効果的な進め方と未然防止活動

こんな方にお勧めです！

- ✓ FMEAを実施しているのに、市場不具合や設計トラブルがなくならないと感じている方
- ✓ 設計変更時のリスクを見逃さないレビュー手法を習得し、品質問題を未然に防ぎたい方
- ✓ 開発・設計、品質保証、生産技術、製造部門の連携を強化し、組織的な品質向上を推進したい方
- ✓ DRBFMを自社へ導入・定着させ、実効性のある未然防止活動の仕組みを構築したい
管理者・リーダーの方
- ✓ 市場クレームの削減や開発品質の向上を目指し、設計力・問題発見力を高めたい技術者の方

本研修では以下のことを学びます。

- ① FMEAを形骸化させず、不具合を未然に防ぐ考え方
- ② DRBFMを活用した設計変更時のリスク発見・対策手法
- ③ 品質向上につながる効果的なデザインレビュー(DR)の進め方

VOICE



- ・まずは概念から周知させていく。学んだ手法・帳票を参考に軽微な設計変更から実施していきたい。(開発部係長)
- ・FMEAの故障モードなど各項目の考え方がよく分かったので、実際のFMEAで指導に活用していきたい。(品質保証部)
- ・やはり、DRBFMとFMEAを実施するにも個の力量が重要だと思った。そのきっかけになり、良かった。(製造部班長)
- ・事前準備が不足気味だった事に気づけた。マトリックスを用いて網羅的に潰し込めるようにしたい。(設計グループリーダー)
- ・今回学んだことを自社のDRBFM実施要綱に盛り込みたい。議論することを重点的に実施するように心がけ新製品に活用します。(配電盤開発部)

講師



(株)ワールドテック 代表取締役社長 寺倉 修 氏

1951年生まれ。1975年、名古屋工業大学工学部 計測工学科卒業、(株)デンソーに入社。27年間自動車関係製品の開発・設計に従事、20種類以上のセンサー、アクチュエータを開発・設計し、車載を実現。製品の開発・設計・量産まで、上流から下流まで幅広く経験。その間に、2000年トヨタ技術賞ノミネート、2001年米国自動車学会(SAE)で優秀事例集に掲載。2005年より、コンサルタントとして活躍。

- 【主な著書】「『設計力』こそが品質を決めるーデンソー品質を支えるもう一つのカー」(日刊工業新聞社)
- 「『設計力』を支えるデザインレビューの実践」(日刊工業新聞社)

【2026年度】DRBFM手法の効果的な進め方と未然防止活動(11/25) 参加要項／参加申込書 ※必要事項をご記入のうえ、切らずにこのままFAXをお送り下さい。

参加費(1名様)	[中産連会員] 36,300円(消費税込) [中産連会員外] 41,800円(消費税込)
申込方法	●中産連ホームページの各セミナー詳細よりお申込みください。(https://www.chusanren.or.jp) 申込みが完了しますと、申込責任者のメールアドレスに「申込完了メール」が届きます。 ●ファックスでのお申込みも可能です。下記申込書に必要事項を記入の上、切り取らずに送信してください。 ※オンライン受講の場合は参加者のメールアドレスが必要です。必ず参加者のメールアドレスをご記入ください。 ※コンサルタント及び教育機関の方のお申し込みはお断りしております。ご了承ください。
受講までの流れ	① 開催日の約1週間前になりましたら、「参加用URL」「ミーティングID」「パスワード」をメールにてご案内します。 ② テキストと請求書は開催日の約1週間前に申込責任者へ郵送します。 【オンライン受講の注意事項】 ・配信システムはZoomを使用します。Zoomがインストールできるカメラ付きパソコンをご用意ください。また、イヤホン付きマイクのご使用を推奨します。 ・接続が切れないよう有線のLAN環境での受講を推奨します。また、接続先環境に起因する音声・映像障害などについては保証しかねますのでご了承ください。 ・IDを共有してのご利用や、画面を投影してのご利用など、参加者ご本人以外のご利用はお断りします。 ・研修の撮影・録音は固くお断りします。
キャンセルについて	お客様のご都合によりキャンセルされる場合には、以下のキャンセル料を申し受けます。 テキスト発送後(開催日の約1週間前)……受講料の100% ※テキスト発送日はセミナーにより異なりますので下記担当者へご確認ください。 営業日の17:30以降のご連絡は、翌営業日の取り扱いとさせていただきます。
申込み・問合せ先	一般社団法人中部産業連盟 マネジメント研修事業部 大土井 〒461-8580 名古屋市中区白壁3-12-13 TEL052-931-9826 FAX0120-342-340 e-mail: seminar@chusanren.or.jp

会社名 _____ 年 月 日

〒 _____

所在地 _____ TEL _____ FAX _____

参加者 所属部課・役職名	参加者氏名(フリガナ)	E-mail アドレス

申込責任者 所属部課・役職名	申込責任者氏名(フリガナ)	E-mail アドレス

会社概要	業種(主要製品名)	資本金	従業員数	今回ご記入いただく個人情報は、セミナー等の運営・情報提供(郵便、メール、FAX等)においてのみ使用致します。 詳細は当連盟HP(http://www.chusanren.or.jp/privacy/index.html)をご覧ください。 同意のうえ、ご協力をお願い致します。関連情報が不要の場合には下記に①点のご記入をお願い致します。 ☐ セミナーなどの関連情報の案内を希望しない
		百万円	人	
中部産業連盟会員(○印をお付けください)		会員 ・ 会員外		